

硬化コンクリートの配合推定

試験内容

既設構造物から採取したコンクリート試料を調査分析し、使用されているセメント、骨材、水の配合割合を推定します。試験方法は、セメント協会F-18法「硬化コンクリート配合推定に関する共同試験報告」に基づき実施します。この方法は、硬化コンクリートを微粉末状に粉砕した試料を希塩酸で溶解して、溶解分をセメント量、不溶残分を骨材量として推定します。また、600℃強熱減量から結合水量を推定することも可能です。算出された各材料の質量%は、硬化コンクリートの単位体積質量を用いて1m³あたりに質量換算します。

試験手順



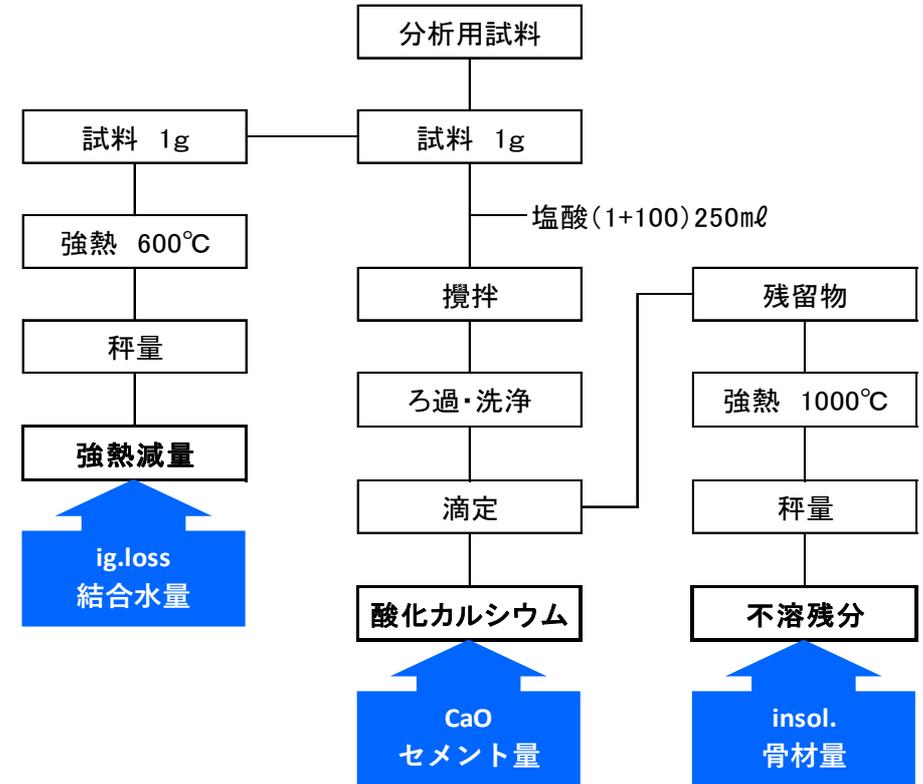
単位体積質量計測



微粉碎試料作製



600℃強熱減量



酸化カルシウムの定量



不溶残分

硬化コンクリートの配合推定における留意点

セメント協会F-18法は、コンクリート粉末試料を希塩酸で溶解させる方法であり、石灰石や貝殻片が混入している場合、これらも同時に溶解されてしまうため、各材料の測定値に誤差を生じさせてしまう可能性があります。

その他配合推定方法を用いることで測定精度を向上させることが可能な場合がございます。事前にご一報いただくと、担当者よりお客様のご要望に適した測定方法のご提案をさせていただきます。

ご案内

- ・お客様の目的、状況に応じた測定方法をご提案させていただきます。
- ・コンクリートコア採取などの現地調査と、室内試験(圧縮・中性化・ASR試験etc)をセットでご依頼頂けると、『セット価格』でお安く見積提示させていただきます。
- ・その他試験に関する問い合わせは、下記担当部署までご一報お願いいたします。

株式会社 **環境防災**

〒770-0046 徳島県徳島市鮎喰町一丁目57
TEL: 088-632-0113 / FAX: 088-631-5438
0120-320-113 (総務受付)

■担当部署■
地盤試験事業部
建材試験グループ

その他の
パンフレット

